

令和7年8月の景色



クサギ シソ科 クサギ属

葉がちぎれるとくさいことから臭木（くさぎ）と呼ばれています。
花は甘い香りで、満開の時期には近くを通っただけその存在に気付くほどです。
白い花と柄のピンク色、紫色の花粉のコントラストも目をひきます。
枯れた大きなクヌギの木を伐採した跡地で、いち早く芽を出して育ってきました。
武蔵台緑地では旧警察病院の北側の遊歩道沿いなどで見ることができます。

業務の実施内容

- ・ 選択除草
- ・ ササ刈り
- ・ 実生木と常緑樹の選択除去
- ・ 草刈
- ・ 市民ボランティア等との協働
- ・ 巡回
- ・ 投棄物の回収清掃
- ・ 植物相調査、動物の観察

作業箇所図



外来種の選択除草

夏に花を咲かせた草が早くも実をつけています。それらは熟してやがて自然に散布されます。それは除去対象の外来種でも同じです。種が散布されると、その強い生命力でまわりの在来種を圧倒するほど増えていきます。

そのため、種をつける前に、花が咲く前に、さらに言えば葉を見つけ次第、除去していきます。



除去対象のアレチヌスビトハギ（写真は昨年のもので）



ササ刈り

武蔵台緑地の「植生管理ガイドライン」では、目標とするササ類の高さが示されています。
この【雑木林（階層発達）】エリアでは、腰丈を超えたササ類を刈り取りました。
手入れを進めていくと、ササ類の下で落ち葉に埋もれかけていたヤブランなどの下草があら
こちらにあることが、よく見えてきます。



作業前



作業後



作業前



作業後

武蔵台緑地の「植生管理ガイドライン」や過去の手入れのようすは
東京都府中市のホームページで見ることができます。

武蔵台緑地 植生管理ガイドライン	検索
------------------	----

実生木と常緑樹の選択除去

樹木は太陽光を求めて枝を伸ばします。ここでは敷地外の開けた空間に枝を伸ばした結果、架線に枝が触れそうになっていた実生木を選択的に除去しました。



作業前



作業後



作業前



作業後

* 実生木（みしょうぼく）とは…

風や鳥などに運ばれてきた種から芽生え、成長した樹木のこと。

草刈

繁茂による通行支障の予防と、新たな道づくりのため、草刈を実施しました。



作業前



作業後



作業前



作業後

植物名の掲示

指標植物の名前を木の杭に書いて
掲示しました。

これは、手入れの際に除去した実生木の
幹を再利用して作成したものです。



巡回および投棄物の回収清掃

昆虫採集トラップと思われるものや、虫と飼育セットが捨てられているのを多く目にします。
また、緑地内に並べてある丸太を転がして遊歩道に散乱させる例も多発しています。



虫などは緑地内で観察し、生育環境を守りましょう。
外部へ持ちださないようにするとともに、緑地に持ち込まないようにしましょう。



飲料容器の投棄が多い



水槽に入れるような砂利の投棄

市民協働

府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。

調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。

今月はミズキとクマノミズキの実の違いを現地で観察しました。



ミズキの実 色づき始めている

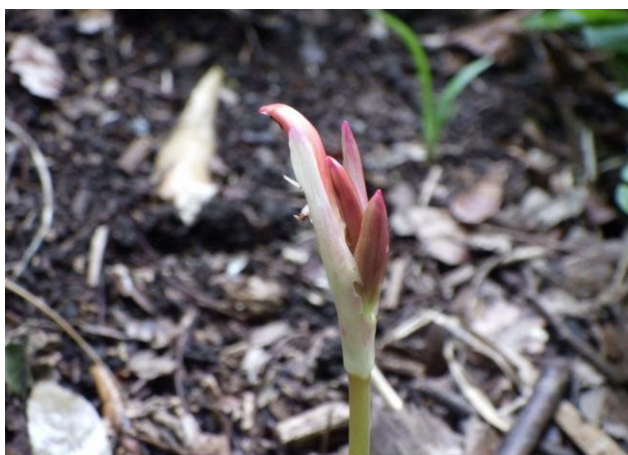


クマノミズキの実 まだ未熟なため緑色

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。

今月はキツネノカミソリの開花情報を共有しました。



キツネノカミソリ 蕾



キツネノカミソリ 開花

7月21日 開花 今季初確認

8月中旬 開花 最盛期

植物相調査

こまめに調査をし、毎月1回の自然環境調査では確認していない時期や場所の状況を記録しています。



ノカンゾウ 花は黄色～だいたい色



クサボケ 未熟な実 熟すと黄色になる



メドハギ 花



ヌスビトハギ 花



ヒメヤブラン 花と緑色の未熟な種子



シロヨメナ 花

緑地内で見かけた虫



ヤマトタマムシ 準絶滅危惧種(NT) [多摩部]
樹木の枯れた部分などに産卵します
翅が落ちているのは割合よく見かけますが、
生きている姿に出会えたのはこの夏3回ほどでした



アカボシゴマダラ 特定外来生物
この夏、最もよく姿を見かけたのはクヌギの
樹液を吸っているこのチョウでした
もともとは日本にはいない種類のチョウです
特定外来生物に指定されているため、飼育などは
禁止されています

